

『インターホン』（3月31日配信）

テーマは、インターホンです。

実家が中古の一軒家を購入し、そこに引っ越しました。快適に暮らしていたのですが、ある夜にインターホンが鳴り、気づいた聴者の母が受話器を取って応答しましたが反応がありません。インターホンは旧式のもので、今だったらモニターに人が映りそのまま話すことができますが、当時は受話器を取って話をするタイプで、私は聞こえないので母が応答し、向こうが何も言っていないのでそのまま切りました。

しばらく経ったある日、夜の9時頃にまたインターホンが鳴ったので応答しましたがやはり反応が無く、外の様子を窺っても門のところには誰もいないので変だなと思いつつも、またそのまま切りました。

そしてまたしばらく経った日の真夜中、12時ごろにインターホンがまた鳴りました。父が起きて呼びかけましたが応答は無く、外を見ても誰もいませんし、車も通らず静かなまま。家族からその話を聞き、気味が悪いしお化けなんじゃないか、何かおかしいぞという話になりました。

そこで父が調べてみると言い出しました。インターホンの受話器や、門のところにある本体を調べましたがおかしいところはないので、本体を外して配線を取り出してみたところ、ケーブルにネズミがかじった跡がありました。だから変だったんだと分かりました。

配線を繋ぎ直して元に戻しましたが、古い家だったのでネズミがいたのかも知れません。分解したインターホンの内側にネズミの毒薬を仕込んでおきました。するとそれ以降、勝手にインターホンが鳴ることはなくなり、静かな夜を過ごせており、ホッとしました。